

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

2014年7月発行

第40号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



消化器内科

2014年度より消化器内科は古志谷（部長）、榎田（医員）が新たにメンバーに加わり、計5名の常勤医体制となりました。非常勤医の先生方の御協力を得ながら、各医師が個々の専門分野を生かしながら診療を行っています。

主な対象疾患は上部消化管（食道・胃・十二指腸）、下部消化管（大腸）、小腸の疾患および肝臓、



胆道、膵臓の疾患と多岐にわたりますが、各種の画像検査および上・下部内視鏡検査に加え、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、ダブルバルーン内視鏡検査も随時行っており、より専門的な疾患の診断・治療も可能となっています。加えて24時間のオンコール体制をとっており、緊急内視鏡検査等の時間外対応を行っています。また、当科は日本消化器内視鏡学会および日本消化器病学会指導施設として、研修医・専攻医の診療指導にも力を入れていきたいと思っています。

地域の中核病院としての役割を果たすべく、近隣のクリニック、病院等と連携して質の高い医療を提供できるようメンバーと共に努力して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

（消化器内科部長 古志谷 達也）

新任医師紹介

婦人科外来始めました

井川 佐紀：婦人科

専門：産婦人科専門医・婦人科細胞診専門医
婦人科に関する悩みがあればご相談ください。保険がきく漢方薬も取り入れ、女性の健康を守るお手伝いがしたいです。

竹中 まり：耳鼻いんこう科

7月より当院勤務になりました。地域医療発展に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

退任医師のお知らせ

今井田 祐子：総合内科

大西 俊範：耳鼻咽喉科

ひじくろ整形外科クリニック

〒651-1132
 神戸市北区南五葉2-1-1
 リーフファイブ5F
 電話 078-592-0028

診療科目：整形外科
 リハビリテーション科
 リウマチ科
 診療時間：午前8：30～12：00
 午後3：30～7：30
 休診日：土曜日午後、日曜、祝日



黒黒 泰志 先生

開業して今年で12年目になります。窓から六甲山を望める診療所は西鈴蘭台の駅前のテナントビル内にあります。私は生まれ育ちが東京ですが、この土地は妻が育ったところで、同じビル内では義弟が皮膚科を、隣では妻が眼科をやっております。整形外科の専門領域は脊椎脊髄外科でしたので、開業前は椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症の手術に明け暮れておりました。診療所内にはレントゲンの透視装置があり、またリハビリ室も比較的広いスペースがあります。整形外科では保存治療と手術治療の両方の選択肢がある場合も少なくないので、患者様にはなるべく丁寧に治療法の長短を説明し、場合に



よっては積極的にセカンドオピニオンを受けるように勧めています。

整形外科はレントゲン検査をはじめとした画像診断に頼ることが大きいです。近年のCTやMRIの高性能化やリウマチ治療の進歩に伴い、骨折などの外傷やリウマチ患者様を神戸中央病院にお願いする機会が増えております。日頃より先生方や病院のスタッフの方々には大変お世話になっており、本当にありがとうございます。

これからも地域医療に少しでもお役立てできたらと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

第2回 JCHO神戸中央病院 市民医療セミナーを開催しました。

2014年6月14日(土) すずらんホールで第2回市民医療セミナーを開催しました。今回は「放っておけない胸の痛み、心筋梗塞の予防と治療」をテーマに、医師、薬剤師による講演と看護師をはじめとした医療スタッフによる健康相談、簡易検査、展示などのコーナーを設け、今回も370名という多数の皆様のご来場を得ました。会場では皆さまの健康に対する関心の高さを強く感じました。次回は、12月6日(土)に消化器病をテーマに同じくすずらんホールで開催予定です。ご来場をお待ちしております。



近藤盛彦医師 講演報告



心臓は、ご存じのように生命活動の中心となっている臓器であり、心臓病は命にかかわる病気と言えます。これらの心臓病の治療は、近年、長足の進歩を遂げていますが、日本人の死因としては、依然として、がんに次いで第2位を占めています。今回の市民医療セミナーでは、心臓病のなかでも、狭心症、心筋梗塞の予防(生活習慣の改善)と診断(心筋シンチ、CT)、治療(風船治療、ステント治療)についての概要を講演させていただきました。

富永日輪薬剤師 講演報告



第2回市民医療セミナーで「心臓病の薬の話」をさせて頂き、講演後に「お薬相談」を行いました。皆さんが薬物療法に対して、色々な疑問や不安を持っておられ、講演後には壇上にも質問に来て下さり、多岐にわたる質問をうけました。このような機会を必要とされる皆さんへ対応ができる、市民セミナーの意義を感じると同時に、日々の服薬指導の大切さを実感した1日でした。

次回予告

<第3回JCHO神戸中央病院市民医療セミナー>

日時：平成26年12月6日(土) 開場12：30 開演13：30
 会場：すずらんホール(神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1)
 テーマ：消化器病について
 講師：消化器内科部長 古志谷 達也・外科医長 曾我 耕次



詳細が決まりましたら、改めてご案内申し上げます。皆様のご来場心よりお待ちしております。

医療費の窓口負担変更について

★高齢受給者の方

70歳～74歳の方の窓口負担は法律上2割となっていますが、特例措置でこれまで1割負担とされてきました。平成26年度から、より公平な仕組みとするために2割負担に見直されることとなりました。

平成26年4月1日までに満70歳になった方：特例措置により引き続き1割負担
 平成26年4月2日以降に満70歳になった方：平成26年5月から2割負担

※一定所得のある方は、これまでどおり3割負担です。

詳細は、加入している健康保険組合、全国健康保険協会、市町村（国民健康保険担当課）、国民健康保険組合、共済組合にお問い合わせください。

★乳幼児等・子ども医療費助成（神戸市）

子育て世帯の医療費負担の軽減をはかるため、乳幼児等・子ども医療費助成制度の3歳児～中学3年生の外来の一部負担金が平成26年7月1日受診分から変更となります。

事業名	年齢区分	所得制限	外 来	入院
乳幼児等医療	0歳	なし	無 料	無料
	1～2歳	あり		
	3歳～小3			
子ども医療	小4～中学生		1医療機関・薬局等ごとに1日500円上限 (2割負担) 月2回まで (3回目以降無料)	

★母子家庭等医療費助成（兵庫県）

平成26年7月1日受診分から、所得制限と一部負担金が見直されることとなりました。

事業名	所得制限	外 来	入 院
母子医療	あり	1医療機関・薬局等ごとに1日800円 (低所得者は400円) を限度に月2回まで (3回目以降無料)	1医療機関等あたり月額3200円まで (低所得者は月額1600円まで) (4ヶ月以降無料)

乳幼児等・子ども医療費助成、母子家庭等医療費助成についての詳細は、お住まいの区の区役所・支所の介護医療係、または保健福祉局高齢福祉部国保年金医療課医療係までお問い合わせください。

医療機関の皆様へ

第24回 北神ストロークカンファレンスのご案内

日時 平成26年9月11日（木）19：00～21：00 場所 JCHO神戸中央病院 2階会議室

特別講演 「てんかんと脳血管障害～双方向性の問題を考える～」

東北大学教授 中里信和先生

「てんかん」は身近な疾患であると同時にその治療となると薬剤の選択、社会的な対応、医療連携や高齢化など広く深い課題を含んでいます。今回は、これらの課題に長らく取り組んでおられ、日本のてんかん診療のオピニオンリーダーである中里先生にお越しいただきご講演いただきます。是非、万障お繰り合わせのうえご来聴をお待ちしております。尚、特別講演は一般講演のあと19時30分ごろからの予定です。

脳神経外科部長・地域医療推進部長 松本 圭吾



神戸中央病院における上部尿路結石治療について

[上部尿路結石に対する外科的治療]

2014年度より軟性尿管鏡とホルミウムレーザー碎石装置が新規に導入されました。従来のESWL（体外衝撃波結石破砕）と、硬性尿管鏡によるTUL（経尿道的結石破砕術）に加えて、軟性尿管鏡によるf-TUL手術が可能となり、上部尿路結石の治療選択肢が増え、ほぼすべての上部尿路結石の治療が可能となりました。今回はそれぞれの治療の長所・欠点について解説いたします。

[ESWL]

X線で結石に焦点を合わせて、衝撃波を当てることで結石を破砕する方法です。当院では初回治療を2日入院で行い、2回目以降を外来治療で行っています。ポルタレン坐薬の前投与のみで、麻酔は不要です。TULと比べて侵襲は少ないことがメリットです。

ただ、結石の状態によって破砕効果にばらつきがあり、治療に長期間を要する場合があります。破砕された結石片が尿管に陥頓して疼痛や発熱が出現することもあります。腎被膜下血腫などの重篤な合併症も稀に起こります。

[TUL]

硬性尿管鏡を使用するTULは主に中～下部尿管結石を治療対象とします。3～5日程度の入院を必要とし、手術は脊椎麻酔で行われることが多いです。碎石装置はリソクラストという空気圧を利用した装置を主に使用します。結石を直接観察しながら破砕でき、破砕片を摘出するので、治療効果はESWLより確実です。

ただ、手術中に結石が腎盂に上がってしまって（push up）、不成功に終わることがあります。合併症としては尿管損傷や術後の腎盂腎炎があげられます。

[f-TUL]

軟性尿管鏡を用いることにより、従来の硬性尿管鏡ではなかなか到達できなかった上部尿管や腎の結石へのアプローチが可能となりました。碎石装置はホルミニウムレーザーを用います。入院治療が必要で、多くは全身麻酔下で手術します。

TULと同様に尿管損傷や術後の腎盂腎炎などのほかに、レーザーによる術後の尿管狭窄にも注意を要します。

最後に

サンゴ状結石などの難治性結石に対しては、単一の治療法のみではなく、ESWL、TULを併用したり、さらにPNL（経皮的腎結石破砕術）を併用する場合があります。

上部尿路結石の治療法の選択にあたっては、尿路結石の大きさ、部位、成分（レ線陰性など）や尿路感染の有無、患者さんの年齢、全身状態、希望などを総合的に考慮して、適切で迅速な治療を行い、地域の尿路結石治療センターとして貢献したいと思っております。

特別講師による講演予定 (平成26年7月から10月) 場所: 当院 2階会議室にて

日時	講演内容	講師
7月24日(木) 16時より	変貌する肝疾患診療の最前線 ～ウイルス性肝炎ならびに脂肪性肝疾患をめぐる～	京府医大教授 伊藤 義人 先生
9月11日(木) 19時予定	てんかんと脳血管障害～双方向性の問題を考える～	東北大学教授 中里 信和 先生
10月7日(火) 18時予定	医療事故と民事・刑事訴訟について	弁護士 井上 清成 先生